

クラスで馬とび

～ 1分間2人で馬とびをして、何回跳べたかを競う ～



(1) 準備する物

・ストップウォッチ

(2) やり方

- ・ 2人組みをつくる。
- ・ 計時の「はじめ」の合図で始める。
- ・ 1人が馬になり、もう1人が折り返して2回馬を跳ぶ。次に、跳んだ人が馬となり、馬になっていた人が折り返して2回馬を跳ぶ。これを繰り返す。
- ・ 1分たった時点で計時が「終わり」の合図をする。
- ・ 「終わり」の合図をした時点で、馬とびをした2人の合計回数を記録とする。
- ・ 馬の高さは自由だが、倒れないように両足を開き、足首かひざをもち、しっかりとした馬をつくる。

(3) ペア編成

- ・ 1人の学級は、異学年の児童・生徒（1人）と2人で行う。
- ・ 学級の人数が奇数の場合や、けがや病気でやむを得ず参加できない児童・生徒がいて2人組を組めない場合は、ペアを代え、実施できなかった児童・生徒のいるペアのみが2回目を行うか、または全体で2回を行ってもよい。

(4) 記録と参加人数

- ・ 1分間で跳べた回数を記録とする。
- ・ 各ペアの跳んだ回数を合計のペア数で割り、その平均回数を記録とする。平均回数が小数となった場合は、小数第3位を切り捨て、小数第2位までとする。
- ・ 学級の人数的ため、ペアを代えて2回目を行った場合は、2回の記録を合計し、延べペア数で割った平均回数とする。
- ・ 参加人数は、馬とびを行った人数とする。
- ・ 異学年の児童・生徒を加えて行う場合は、記録の申請は上の学年で行う。